

2022年7月31日

前奏

鈴木義兄

賛美歌2篇184番

神はひとり子を たまうほどに 世人を愛したもう 神は愛なり

(繰り返し) ああ 神は愛なり けがれはてし 我さえ愛したもう
神は愛なり

罪をばおかして 神にそむき さからう我さえ なお愛したもう
(繰り返し)

罪ゆるされんため 我にかわり 御子イエス 十字架に死にたまえり
(繰り返し)

聖書拝読 使徒行伝27章1-25節

説教 “パウロと一行の航海” Scroggins 由紀牧師

後奏

鈴木義兄

“朝毎の恵み” (God's Blessings for Each Morning)

“主よ、朝ごとにあなたはわたしの声を聞かれます、わたしは朝ごとにあなたのためにいけにえを備えて待ち望みます。” (詩編5章3節)

朝というのは一日の始まりとして特別な時間です。特に夏の朝は学生時代の夏休みを思い出し、休みでなくても懐かしい気持ちになります。しかし、朝一番でテレビをつけると、様々なニュースに気を取られることがあります。ニュースというのは知ることは必要ですが、その内容が重大だと心理的に影響される可能性があります。パンデミック中にこのことに気が付き、巷のニュースを見る前に、聖書を読み、祈るという習慣を始めました。というのも、朝ニュースから始めると一日がそれにより振り回されている気になったからです。以前は朝は忙しいので、夜中心に祈りをしていたのですが、それに加えて、朝、一日の初めに短時間でも祈ることの大事さを感じています。その日ごとに、神に向き合う、という姿勢を持ち、一日の終わりに振り返ってみると、恵みにより支えられたと実感できるようになりました。

詩編においてダビデは、朝毎の主の恵みをたたえて、自身も朝毎にいけにえを備えて待ち望むとっています。(3節)彼自身にも、主の恵みを受ける心構えがあったということでしょう。私たちは主イエスご自身の十字架の贖いゆえに、動物のいけにえは必要なくなったので、その時間を神にささげる、という心構えが大切だと思います。どのように時が移り変わっても、毎朝、日が昇るごとに主により恵みが与えられることに心から感謝しましょう。

(Yuki Scroggins)

消息

—教会の内外で主の癒しを必要とされている方々のために、また、世界におけるパンデミックが一日も早く終息に導かれるように、またウクライナに平和がもたらされるように祈りましょう。

—日本語部で鈴木義兄が休暇中にオルガン伴奏をしてくださった森田みゆ姉が、日本に帰国されました。森田姉の将来に主の導きと恵みがあります様にお祈りください。

—BA. 5 という新型コロナの変異株がアメリカでも広まっております。引き続き気を付けてお過ごしください。

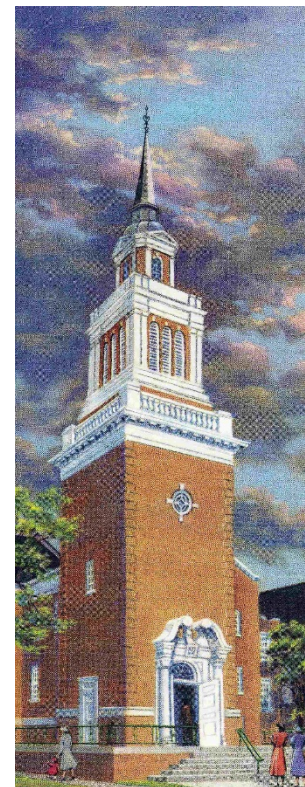
お知らせ

—シカゴ市内に住むカレン語部の兄弟姉妹たちのアパートが火事で焼け、教会では彼らのために募金を募っています。ご協力される方は、ノースショアバプテスト教会にて“Benevolence Fund”と小切手のメモ欄にお書きの上、送金ください。オンラインでの献金も可能です。

—ウクライナの危機に関して、International Ministries では支援を行っております。興味のある方は下記のリンクを通して寄付をしてください。支援金は、ウクライナのバプテスト教会へ送られます。

<https://www.internationalministries.org>

—アメリカでは、パンデミック以来、アジア系住民への差別偏見が問題になっていますが、アジア系であるということで、嫌がらせなどの被害を受けた方は、Stop AAPI Hate のサイトで被害を報告することができます。また、政治的な活動については、AAAJ (Asian American Advancing Justice) などのサイトをチェックされることをお勧めいたします。



週報

第3883号
2022年7月31日

ノースショア バプテスト教会 日本語部
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640
Phone: 773-728-4200 Web: www.northshorebaptist.org

発行: 2022年7月27日—ノースショアバプテスト教会日本語部
スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)
電話: 773-728-4200